

## 巻頭言

# 新たな10年に向けて



埼玉大学理事・副学長

重原 孝臣

SHIGEHARA Takaomi

この一年を振り返ると、昨年春より感染が拡大した新型コロナウイルス感染症にまさに翻弄された一年でした。本協議会の活動も大きな制約を被り、6月の定期総会は実開催をあきらめ書面審議に、秋の産学交流会テクノカフェは規模を縮小して対面・オンラインのハイブリッド開催に、年明け3月初旬の学内合同企業説明会はオンライン開催にさせていただきました。不慣れな環境下で行き届かなかった点が多々あるとは存じますが、会員の皆様にはご理解・ご支援をいただき、お陰様でこの一年を何とか乗り切りました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

今回のパンデミックとよく比較されるのが20世紀初頭に流行したスペイン風邪です。当時はウイルスの発見から間もなく、抗生物質も発見されていない時代で、隔離や手洗い・うがいといった原始的な対処法しかなく、世界で約5億人が感染し、1億人以上が亡くなったと言われていました。その後の急速な科学技術の進歩は医療・創薬・公衆衛生などの分野に劇的な進展をもたらし、今回のパンデミックでは、ウイルス拡散の初期段階からウイルスの遺伝子解析が進み、1年半足らずのうちにワクチンも開発されました。日進月歩の科学技術の恩恵の一方で、人々の往来や経済活動のグローバル化の中で、ウイルスは瞬間に世界全体に広がり、その影響も甚大になってきています。自然界と人間社会の距離が縮まった現代において、パンデミックはいつでも起きてもおかしくないと言われています。今回のパンデミックは、自然界との共存について人間社会に改めて問いを投げかけているように感じます。

昨年、本協議会は創立20周年を迎えました。複雑化する地球規模の課題や地域課題が増えるなかで、産学官の連携は一層重要性を増しています。本協議会も、新たな10年を見据えて、視点を変えた新たな連携を模索する大切な時期を迎えているようにも思います。会員の皆様におかれましては、協議会の活動をより活性化させるために、引き続きご指導・ご鞭撻をたまわりますように宜しくお願い申し上げます。

## CONTENTS &gt;&gt;&gt;

- 01 巻頭言
- 02 活動報告「第21回埼玉大学産学交流会テクノカフェ」
- 03 活動報告「埼玉大学合同企業説明会」「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」
- 04 会員企業訪問記「株式会社埼玉りそな銀行」
- 05 会員企業訪問記「NITTOKU株式会社」
- 06 活動報告「防災ビジネス研究会、アブラヤシバイオマス利活用研究会、AI活用研究会」
- 07 新会員紹介
- 08 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

活動報告

Report

01 「第21回 埼玉大学産学交流会テクノカフェ」を開催

埼玉大学産学官連携協議会では、2020年12月4日（金）埼玉大学産学交流会テクノカフェ（共催：埼玉大学）を開催しました。協議会会員企業・団体の他、会員外企業・団体、学内教職員等、73名の方に参加いただきました。

埼玉大学産学官連携協議会は2020年7月に設立20周年を迎えました。本来であれば、節目を記念し多くの方にご参集いただけるイベントとしたいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を鑑み、規模を縮小して実施いたしました。今回のテクノカフェは「コロナ禍を越え明日を考える」と題し、最新の研究シーズのご紹介を通じ、変容していく社会情勢を乗り越えてゆくヒントを発見いただくことをテーマといたしました。開催形式は、埼玉大学総合研究棟1階のシアター教室を実会場とする一方、Zoomウェビナーを利用したオンライン配信も行いました。参加者の内訳は、来場参加が44名、オンライン参加が29名となりました。



学長挨拶(坂井学長)

坂井貴文埼玉大学長の挨拶に続き、大学研究シーズのご紹介では、埼玉大学大学院理工学研究科の7教員から、最新研究成果等の事例発表がありました。各研究について、ごく短時間で

学内教員研究成果等の事例発表 埼玉大学理工学研究科 7教員

発表順

働く宝石を創る -機能性結晶の開発-	武田 博明 教授
膜電位光計測から探る脳の機能と健康	津田 佐知子 准教授
CFRP接着接合に関する実験・解析評価	坂井 建宣 准教授
ワイヤ+アーク放電式AMによる大型金属3Dプリンティング	阿部 壮志 助教
電気・電子機器における基盤技術としての電気絶縁	山納 康 准教授
高精細な力覚に基づく組立てロボット	辻 俊明 准教授
海中ワイヤレス給電に関する研究	金子 裕良 教授



研究成果等事例発表(実会場)



研究成果等事例発表(オンライン)

はありますがわかりやすい説明をいただき、多岐に渡る大学の研究内容が紹介されました。参加者アンケートにも、「普段聞けない広範囲な分野の講演で興味深かった」「各研究テーマが社会課題解決にどのように展開していくのか伺ってみたい」とのご意見をいただいております。実会場での質問に加え、オンライン参加者からもZoomの機能を利用してテキストで質問が寄せられるなど、ハイブリッド形式ならではの一幕もありました。

例年はコーヒープレイクの際に、展示ホールにおいて大学教員のポスター展示及び解説、新会員企業・団体の紹介、協議会研究会の紹介等を行っておりますが、今回は短時間化及び密集・密接を避ける観点からも取りやめといたしました。同様に交流会（懇親会）についても実施しませんでした。対教員あるいは会員企業・団体間での交流促進の機会については、今後も形式を検討しながらご提供していく予定です。

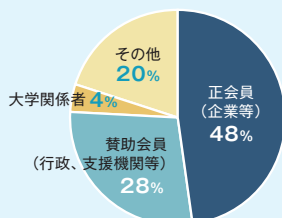
当協議会のイベントとしては初のオンライン併用型の開催となりましたが、感染症対策で各種制約がある中、運営にご協力いただきましたご参加の皆様には改めて御礼申し上げます。産学交流会テクノカフェは、今後も内容を一層充実し開催してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしています。



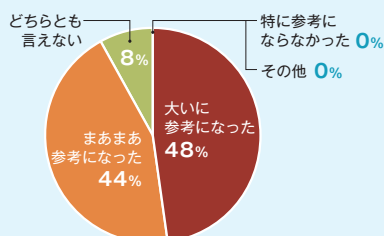
講演会場

参加者アンケートより

Q1 会員種別についてお教えてください。



Q6 今回の講演は参考になりましたか？



Q9 ご意見・ご感想

- ハイブリッド型だったがスムーズな運営だったと思う。 ← オンライン参加
- 少し音がこもった状態だった。資料は大変見やすいと感じた。 ← オンライン参加
- 久々の対面による講演会に参加でき、とても良かった。 ← 来場参加
- 通路側の前後で間隔が他に比べて無かったように感じたが、全体的に密にならず換気も良く、実会場での開催も可能と感じた。 ← 来場参加
- オンラインでも十分に伝わったと思う。今後はオンラインの活用による参加を検討したい。 ← 来場参加

Report

## 02 「埼玉大学合同企業説明会」を実施

2022年3月卒業（修了）予定の学生を対象としたオンライン合同企業説明会（主催：埼玉大学統合キャリアセンターSU）が、2021年3月1日（月）～5日（金）の5日間にわたり開催されました。この説明会は学生へ業界・企業研究の機会を提供するもので、当協議会においては会員企業の人材確保支援事業と位置付けています。近年、参加希望企業の増加に伴い、枠の関係上お断りせざるを得ない状況もありますが、会員企業は必ずご参加いただけます。また、運営を専門業者（株式会社サイード）に委託することにより、参加費は有料ですが、会員企業特典として3万円の値引を継続実施しております。

今回の合同企業説明会は、全てオンラインでの説明実施となり、参加企業

はLIVE配信および録画配信により企業・業界のPRを行いました。動画はポータルサイト上でアーカイブ動画として公開しており、開催当日以外の視聴にも対応しています。説明担当の方にとっては実際に対面出来ない難しさがあったかと思われそうですが、学生にとっては同時刻開催の企業説明をアーカイブで複数視聴できるといった、これまでの対面形式では叶わなかったプラスの側面も見られました。

全体参加企業数347社のうち、会員企業からは55社にご参加いただきました。新たな試みとして、合同企業説明会のポータルサイト上に、埼玉大学産学官連携協議会会員企業の特集ページを設け、ダイレクトにアーカイブ動画や企業ホームページの採用関連情報へアクセス可能になりました。企業に

とって人材確保の重要性が増している現状を踏まえ、今後とも学生・企業の双方に有益な場となるよう目指してまいります。



説明会参加企業55社	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	株式会社アイチコーポレーション	株式会社朝日ラバー	株式会社 ADEKA	株式会社アドテックス
	株式会社新井機械製作所	アンテナ技研株式会社	株式会社井ロ一世	株式会社ウエルディングアロイス・ジャパン	AGS株式会社
	株式会社エヌ・ワイ・ケイ	エレクス株式会社	オーセブン株式会社	株式会社川金コアテック	株式会社倉本産業
	グリコニューファクタリングジャパン株式会社	コージンバイオ株式会社	株式会社小金井精機製作所	株式会社サイサン	埼玉縣信用金庫
	株式会社埼玉りそな銀行	サンケン電気株式会社	株式会社システムインテグレータ	株式会社芝浦電子	信越ポリマー株式会社
	新日本無線株式会社	西武造園株式会社	泉工医科工業株式会社	太平洋セメント株式会社	株式会社タカインフォテック
	株式会社タムロン	株式会社榑本チエイン	ティ・エス テック株式会社	株式会社デジタルベリー	東京電設サービス株式会社
	日本アンテナ株式会社	日本信号株式会社	パシフィックシステム株式会社	早坂理工株式会社	東日本電信電話株式会社
	株式会社ビットマスター	株式会社フコク	株式会社ベルニクス	ポーライト株式会社	前澤工業株式会社
	株式会社松永建設	マレリ株式会社	三菱マテリアル株式会社	株式会社武蔵野	株式会社武蔵野銀行
株式会社モリタ東京製作所	株式会社ラスコ	株式会社リケン	理研計器株式会社	日本政策金融公庫	

Report

## 03 「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

埼玉大学では、さいたま市と連携し、ものづくり企業の新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的として「3D-CAD&3Dプリンター無料研修」を開催しました。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により開催が1か月遅れましたが、予定したFusion360入門・実用・応用、SolidWorks初級、CAM演習及びReCap Photoによる3D画像合成の6コース各4回を日程の一部を変更して開催し、受講実人数で86名、延べ120名と2019年度と同等の参加者がありました。

研修では感染症対策として、受講者にマスク着用及びアルコール消毒の協力をいただき実施しました。また、「三密」を避けるために大会議室を使用したほか、一部のコースでは、オンライ



ン開催を取り入れました。リモートにより3D-CADを受講者と講師が画面共有しながら操作説明を行い、対面研修と同様のスムーズな研修を行うことができました。

新設のCAM演習コースでは、Fusion360のCAM機能による3Dモデル加工用のNCデータ（Gコード）を作成し、2日目には埼玉大学内実習工場において、NCフライス盤による切削加工の実習を行いました。

本研修の受講により、3D-CADの設



計ツールとしての機能だけでなく、CAEとしてのFEM（有限要素法）及びCAM機能を業務で有効活用いただく機会としました。受講いただいた機械、電気・電子、化学、建設・土木、情報・CAD、医療及びデザイン関係などの多種多様な業界及び業務の方々から好評をいただきました。

2021年3月5日（木）には活用事例報告会を開催し、オンライン形式による受講者及び講師の発表を行いました。



## 会員企業訪問記

学生リポーター

大後 涼瑛、但野 春香、  
旗町 菜々実

経済学部 経済学科  
法と公共政策メジャー 2年



『埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行』

### 株式会社埼玉りそな銀行

#### COMPANY PROFILE

企業名：株式会社埼玉りそな銀行  
所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1  
設立：2002年8月27日 資本金：700億円  
代表者：代表取締役社長 福岡 聡  
事業内容：銀行・信託業務

Interview

## 01 概要

埼玉りそな銀行は、株式会社りそなホールディングス100%出資の銀行で、2002年8月設立、2003年3月に営業が開始されました。同社の埼玉県内における預金、貸出金のマーケットシェアは4割を超えるなど地元地域に密着した経営が行われ、大半の銀行が15時に閉店する中、17時まで窓口営業時間を延ばす等、特徴的な取組みをしています。また、2018年には「女性が輝く先進企業表彰」において「内閣総理大臣表彰」を受賞しており、女性の活躍を推進するなど、従業員が働きやすい環境が整備されています。



社会情勢の変化にも柔軟に対応しています。一方、同社は、スマートフォンアプリで残高確認や振り込みなどの銀行取引を可能とする「りそなグループアプリ」を導入し、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。デジタル化による業務の効率化とお客さま利便性の向上を両立し、お客様対応の時間を大切にしていると感じました。

体系は、国内で唯一のものです。このような、お客さまに対する幅広い提案が可能となっていることから、国内の銀行の中で独自の地位を確立しています。

Interview

## 02 TOPICS

### デジタル化×お客さまの利便性の向上

同社では、現金に銀行員が触れる機会を最小限とし、かつ、契約手続をペーパーレスで行うことで事務の簡素化を図る等により、平日9時～17時までの営業を可能にしています。最近のコロナ渦では、お客様訪問の際に専門分野の銀行員も遠隔で参加する等、



### 広範な業務

同社の強みの一つとして挙げられるのが、預金や貸出、保険や投資信託などの運用相談といった商業銀行としての業務の他に、信託銀行としての側面を持つことです。信託業務で取り扱っているのは、事業承継、遺言作成など高齢化社会の課題解決に繋がる相談です。金融の垣根を越えた業務

Interview

## 03 学生目線

実際に業務を行っているところだけでなく、朝礼の様子も見学させていただきました。朝礼では社員の方々の顔つきが真剣だった一方、社内を案内していただいた際や質問に答えていただいた際には終始笑顔でなごやかな雰囲気だったのが非常に印象的でした。また、お客さまに操作しやすいスマホアプリを導入するなどデジタル化にも積極的に力を入れていることなどから、常識にとらわれず、常に新しいことにチャレンジしようとする姿勢が感じられました。

### おわりに

今回の企業訪問で、開店前の様子やデジタル化が進んだ店頭の裏側などを見学させていただき、社内の雰囲気を肌で感じることができました。質問にも丁寧に応じていただいた他、仕事上でのエピソードなども教えていただき、参考になりました。お忙しい中、このような大変貴重な体験をさせていただき、心より感謝申し上げます。





# 会員企業訪問記

学生リポーター

瀬底利奈

経済学部 経済学科  
経営イノベーションメジャー 2年  
経済学部 金子秀セミ  
他20名

## NITTOKU株式会社

『製造業は創造業』  
人と機械、産業と地球環  
境の共生を叶える



### COMPANY PROFILE

企業名：NITTOKU株式会社  
所在地：埼玉県さいたま市大宮区東町2-292-1  
設立：1972年9月28日 資本金：6,884,928,042円  
代表者：代表取締役社長 近藤 進茂  
事業内容：巻線機、巻取り・繰出し機器及びその周辺機器の開発、製造、販売、サービス

Interview

## 01 概要

NITTOKU株式会社は1972年に誕生した自動巻線機メーカーです。「世界的な視野に立ち、ユーザーの期待を創造し、最高の技術を提供する、創造システムで社会に貢献」を経営理念とし、電気関連製品をつくるメーカーをターゲットに自動巻線機や自動巻線機システムの開発・製造・販売を行っています。NITTOKUは顧客ごとに巻線機を作ることで、特定の分野で高い競争力を持ち、国際市場で高いシェアをもついわゆるGNT企業です。近年はオープンイノベーションを用いてFA分野にも参入しています。



品種生産を可能にしています。顧客のニーズを収集するために、スマイルカーブの理論から考えて顧客のシーズやニーズなどの情報を獲得しています。そして、得られた情報をもとに顧客のニーズにぴったり応える最適な製品を提供しています。

このようにNITTOKUはコア技術とすり合わせによってニーズに合ったクオリティの高い製品を素早く提供することでブルーレイク戦略を達成しています。

### 屋台経営

NITTOKUでは人材育成の一環として「屋台経営」を取り入れています。屋台の経営者のように、現場力をつけた中堅社員に会社の軒下を貸し、経営を任せるといふものです。なぜなら、経験をもとにした「現場力」がマネジメント成功の鍵となるからです。そのため、組織をできるだけフラットにして権限を移譲し、社員が主体的に行動できる環境を整えています。



方で、自社の確かな技術と経営を確立することによって世界が注目する企業となりました。顧客の希望を叶え続けなければならない点について、様々なコア技術を用いながらすり合わせを行い開発することが大切なのだ学びました。工場見学では直接現場を見学することはできませんでしたが、精密な技術を画面越しながら感じ、コア技術力の高さを見ることができました。また、技術や経営だけではなく、屋台経営をはじめとして社員教育にも特徴がみられることがわかりました。

### おわりに

今回はZoomを通して行う特殊な企業訪問となりましたが、お話を伺う中で近藤社長の言葉からNITTOKUという企業への誇りが伝わりました。今回はお忙しい中企業見学に対応してくださりありがとうございました。関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

Interview

## 02 TOPICS

### コア技術×すり合わせ

NITTOKUの経営戦略のひとつにブルーオーシャン戦略を中小企業にリメイクした「ブルーレイク戦略」があります。

NITTOKUは様々な材料を「巻く技術」を強みとし、制御、テンション、断線、搬送、ハンドリング、組立・加工技術をコア技術としています。そして、「すり合わせ」を行うことで顧客のニーズに合った高付加価値のある少数多

Interview

## 03 学生目線

NITTOKUは顧客を大切にする一



Report

04

## 「埼玉大学産学官連携協議会研究会報告」

## 防災ビジネス研究会

代表：藤池 一誠(株式会社デサン・代表取締役社長) 事務局：田中 雅人(産学官連携コーディネーター)、山田 涼子

**防**災ビジネス研究会は、2020年度第2回研究会を2020年12月8日(火)に、第3回研究会を2021年3月24日(水)に、埼玉大学およびオンラインにて開催しました。

第2回研究会では、常設デジタルサイネージを利用した避難誘導システム開発状況について、製品化完了(ソナエージ®)と販売状況について報告がありました。また、会員企業の活動事例として(1)株式会社エヌ・ワイ・ケイ 荻原様によるNPO法人貯水タンク防災ネットワークの活動紹介、(2)西武造園株式会社 小畑

様によるドローン利用と防災の取り組みについてそれぞれご講演いただきました。

第3回研究会では、ソナエージ®が新たに埼玉りそな銀行大宮西支店に設置完了したことが報告されました。その模様はテレビ埼玉および日経新聞でも報道されています。また、分科会Cがテーマとしていた防災情報のポータルサイトをオープンさせ、イベントの様子や会員の持つ防災関連コンテンツを掲載しました。

本研究会は2020年度に活動期間の上限を迎えますが、これまでに



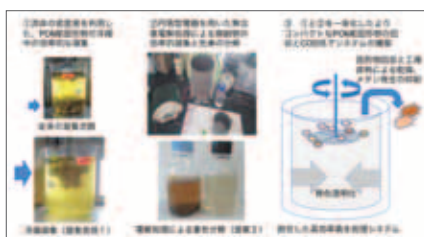
ソナエージ®設置(埼玉りそな銀行大宮西支店)

培った産学官で取り組む防災・減災のビジネス化をより発展させるため、新たに「埼玉防災普及技術研究会(任意団体)」設立を予定しております。今後の活動にも是非ご期待ください。

## アブラヤシバイオマス利活用研究会

代表：高木 優(グリーンバイオ研究センター長・教授) 事務局：大久保 俊彦(産学官連携シニアコーディネーター)

2020年度は本研究会最終の3年目となり、企業会員11、賛助会員5及び本学8名の構成メンバーでスタートしました。昨年度に引き続きSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)申請を最優先課題とし活動を開始しました。7月に応募予告情報を入手するや、申請活動に取り組みました。アフリカ案件が重視されることから、タイ1国からカメルーンも加え、パーム油排水の有機懸濁物の高効率での回



電気分解型パーム油排水(POME)処理システムの概要  
取、回収物からエタン等への有用物質に変換、パーム樹高の調整等に関わる有用遺伝子の探索及びアジア・アフリカ同時に新たな産業エコシ

テムを形成することを課題に掲げ申請活動に取り組みました。

コロナ禍のため、研究会会合から相手国関係者との協議まで殆どをオンラインで取り組む厳しい環境の中、日本側申請及びタイからのODA申請は完了したのですが、カメルーンからのODAが期限内に届かず結果的に不採択となりました。本研究会は終了となりますが、次年度捲土重来を期すことをメンバー一同で確認しました。

## AI活用研究会

代表：大久保 潤(情報メディア基盤センター・准教授) 事務局：笠谷 昌史(産学官連携シニアコーディネーター)、日下 明美

**本**研究会は、所属する会員が将来的にわたり人工知能(AI)を活用した企業変革の最前線を走っていくために、AI・機械学習についての基本的な事項を幅広く知り、活用するための知見を深めることを目的として設立されました。



オンライン講演(SAITEC/白石様)

活動の最終年度となる本年度は、コロナ禍のためオンラインでの開催となりました。2020年12月18日に埼玉県産業技術総合センターでのAI導入支援の取り組みについてオンライン講演を、2021年1月12日および19日にはプログラミング言語Pythonによる機械学習実践の初歩についてオンラインセミナーを実施しました。事前に資料を配布して参加者のパソコンに開発環境を整えるなどの工夫により、今後の実践へとつながる体験をしていただくことができました。



オンラインセミナー

コロナ禍で大変な折、ご参加いただいた皆様のご協力によって活動を無事に終え得ることができ、非常に感謝をしております。本活動が今後のAI活用につながることを期待しています。

## 01 株式会社アイチコーポレーション

創業以来、電気・通信・建設・鉄道など、社会のインフラ工事向け高所作業車や工用機械化車両の開発・製造・販売・アフターサービス、安全教育も自社で行い、つくるだけでなく「作業環境創造企業」として、お客さまの事業全体をトータル的に考えたご提案で、お客さまとともに発展してきました。

もっと安全に、快適に、効率的に。

お客様にとって、理想の作業環境を創造してまいります。

- ① 高所作業車、穴掘建柱車、他特殊作業車など工用機械化車両の開発製造販売
- ② 埼玉県上尾市大字領家字山下1152-10
- ③ 048-781-1111
- ④ 1962年(昭和37年)2月2日
- ⑤ 代表取締役社長 山岸 俊哉
- ⑥ もっと人を考えたい。ー作業環境創造企業。



AICHI CORPORATION

## 02 アンテナ技研株式会社

弊社は創業から半世紀以上に渡り無線技術の必須デバイスであるアンテナ・高周波フィルタを設計製造し、航空宇宙、防災、交通、放送など社会インフラを支えるお客様の様々なご要望にオーダーメイドで応えてきました。今後も通信、レーダー、エネルギー分野が加速度的に進化していく中で、アンテナ技術で日本の高度情報化に貢献していきます。

- ① アンテナ及びこれに関連する製品の設計、製造、調整、並びにその販売
- ② 埼玉県さいたま市見沼区宮ヶ谷塔4-72
- ③ 048-685-1300
- ④ 1965年(昭和40年)12月1日
- ⑤ 代表取締役 藤原 純
- ⑥ アンテナ・伝送技術を通じて高度情報化社会へ貢献



探査衛星「はやぶさ2」MINERVA搭載の逆Fアンテナ

## 03 泉工医科工業株式会社

私たち泉工医科工業は、創業以来、各種治療分野の医療機器を主に、一貫した研究・開発を進めてきました。この豊富な経験と確かな実績をもとにして、明日の医療に不可欠な、より良い臨床用機器の開発を続けること、優れた医療機器のメーカーとして社会に貢献する、これが我々の社会における企業の責任と役割であると考えております。

- ① 医療機器の製造販売
- ② 東京都文京区本郷3-23-13
- ③ 03-3812-3251
- ④ 1950年(昭和25年)5月4日
- ⑤ 代表取締役社長 青木 正人
- ⑥ 誠実、信頼、感謝



製造風景

## 新規会員をご紹介ください

## - 埼玉大学産学官連携協議会入会メリット -

## 研究会活動に参加できます

「防災ビジネス研究会」  
「アブラヤシバイオマス利活用研究会」  
「AI時代の画像処理技術研究会」  
「創エネ・畜エネ技術研究会」  
「AI活用研究会」が活動中です。  
新規研究会テーマも募集中です。



## 産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場を提供します。



## 埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会  
学内合同企業説明会に参加できます。  
(年1回)



## 埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)でご利用いただけます。  
(随時)



## 最新情報をお届けします

・ニュースレター(年2回発刊)  
・インフォメーションメール配信会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



## お問い合わせはこちらまで

## 埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

(オープンイノベーションセンター内)

電話：(048)714-2001 Fax：(048)858-9419

E-mail：s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp

URL：http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi\_about/

2021年度 オープンイノベーションセンター

## 産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所	
4	第1回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	埼玉大学／オンライン	★
5 10(月) ～	さいしんビジネスフェア2021チャンネル [～ 6/30(水)]	オンライン	
6 4(金)	第2回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	浦和コルソ	★
	第22回定期総会・産学官連携事例発表・交流会	浦和コルソ	★
7			
8 23(月) ～	イノベーション・ジャパン2021～大学見本市Online[～ 9/17(金)]	オンライン	
9 14(火)	JST首都圏北部4大学(4u)発 新技術説明会	オンライン	
10			
11	第22回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学	★
26(金) ～ 28(日)	第72回埼玉大学むつめ祭	埼玉大学	
12	第3回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	ソニックシティ	★
1	彩の国ビジネスアリーナ2022(産学連携フェア) ※予定	オンライン	
2			
3	合同企業説明会	埼玉大学	★

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

### 埼玉大学産学官連携協議会 第22回 定期総会

埼玉大学産学官連携協議会の定期総会を開催いたします。当協議会の益々の発展のため、多くの皆さまのご出席をお願いいたします。

日 時	▶ 2021年 <b>6月4日</b> (金) 13:30～16:30(予定)
会 場	▶ 浦和コルソ7階 コルソホール(埼玉県さいたま市浦和区高砂1-12-1)
議 題	▶ 2020年度活動報告および決算報告について／2021年度活動計画(案)および予算(案)について／その他
講 演	▶ (調整中)

※申込方法等、詳細は、別途ご案内を郵送いたします。

### 新規研究会テーマを 随時募集中です

埼玉大学産学官連携協議会では、本会会員および埼玉大学教職員等が協同し、研究会活動を行うことを支援しております。「具体的な技術課題解決への研究活動」から「研究課題の予備調査」、「公的研究費獲得による産学官連携共同研究のための先行研究」等にご活用いただけます。ご興味のある方は事務局(以下連絡先)までご連絡をお願いいたします。

発行  
埼玉大学産学官連携協議会

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学オープンイノベーションセンター (COIC)内  
TEL: 048-714-2001 FAX: 048-858-9419 E-mail: s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp  
URL: [http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi\\_about/](http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/)